

みだしなみは

①清潔感

②上品さ

③ひかえめさ

基本のスタイルです

2019年3月作成

教育接遇委員会・院内感染対策委員会

新しい年度も間近！新しい仲間を迎えます。改めて自分のみだしなみチェックしてみましょう。

感じのイイ身だしなみは、あなたの

「接遇力と感染対策センス」両方を向上させます

白衣

- ・患者と直接触れる可能性があるため、清潔な白衣や制服を着用する。
- ・ズボンの裾は床につかないこと。
- ・カーディガンは袖が汚染しやすいので、業務中は着用しない。
- ・予防衣やエプロンは着回すことで汚染を拡大させかねないので、必要時に着用し、使用後は速やかに外す。

アクセサリ・時計

- ・指輪・アクセサリ類はできるだけつけない。
- ・腕時計は手洗いの邪魔にならないように、外しておくか着脱しやすいものをつける。

ポケット

- ・ポケットの中は何度も手を出し入れすることにより不潔になりがちなので注意する。
- ・物を入れすぎない。



髪型

- ・髪の毛が肩に掛かる場合は、ゴムやネット・バレッタなどを使用しまとめる。
- ・頻繁に手で触れるのを避けるため、前髪は目にかからないよう、サイドの髪は頬にかからないようにする。
- ・男性の場合、ひげを伸ばすと手で触れやすく、清潔感が損なわれるので望ましくない。

手・爪は清潔に

- ・爪は短く整える。
- ・マニキュアは不可。

靴

- ・針刺しや切創の予防のために、ナースサンダルではなく、つま先が保護されている靴をはく。